

最新「パンチ・ファイバーレーザー複合マシン」 2台を新規導入



国内最先端の「デジタル板金」を進める、株式会社フジムラ製作所(代表取締役 藤村智広:埼玉県川口市領家 3-12-10)は、このたび最新設備としてアマダ製「パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe」を本社工場(埼玉県川口市領家 3-12-10)ならびに第四デジタル板金工場(埼玉県川口市 4-4-33)の2工場それぞれに導入し、11月末より本格的に稼働を開始いたしました。

「LC-2512C1AJe」の導入は、これまで使用してきた本社工場と第四工場のパンチ・CO₂レーザー複合マシン2台を一度に入れ替え、現在運用中の「パンチ・ファイバーレーザー複合システム ACIES」等と合わせた運用を行うことで、ブランク工程の生産性向上と効率化を図るというものです。今回の導入により、単純にマシンスペックを比較した場合、約2倍の生産性の向上が期待できます。

これにより、フジムラ製作所ではブランク工程に4台のパンチ・レーザー複合マシンとレーザーマシン単体1台(このうちファイバーレーザー×3台、CO₂レーザー×2台)を有することとなり、変種変量生産から少量多品種生産さらには量産品の生産体制までを実現いたします。

フジムラ製作所が掲げてきた「デジタル板金」システムは、自由度の高い生産体制を構築することを常に念頭に置いて進めています。今回導入した「パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe」は、安全性と作業性を両立しながらコンパクトな設計により、少ない設置面積で最大限の効果を上げることができる工程統合機となります。通常、レーザーマシンとパンチングマシンの2台が必要な加工を、複合機では

1台で加工することができるという点は大きなメリットであり、レーザーによる自由形状切断とパンチング機能による成形・タッピングなどの加工をワンクランプで加工することが可能です。このワンクランプでの加工は、複数工程の際に起こりやすい「加工時のズレ」などがなく、また複数工程の製品搬送時間も不要となることから大幅な工数削減が見込めます。

フジムラ製作所としては今回の「パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe」の導入により、板金加工の最初の工程となるブランク加工の能力を大幅にアップすることで、デジタル板金による工場内の効率的な生産性を実現し、より一層の板金加工のDX化を図ってまいります。

■「パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe」基本概要

LC-2512C1AJe マシン仕様		
移動方式	パンチ加工時	X軸/Y軸 材料移動
	レーザー加工時	X軸 材料移動、Y軸 光移動
加工範囲	パンチ加工 X×YP(mm)	2550×1270
	レーザー加工 X×YL(mm)	2550×1270
	複合加工 X×Y(mm)	2550×1270
加工精度	mm	±0.07
加工板厚	パンチ(mm)	6
	レーザー(mm)	6
最大ワーク質量	kg	75 (F1) / 150 (F4)
プレス能力	kN	200
受電容量	kVA(加工機本体+集塵機)	15

■ パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe (本社工場導入機)



■ パンチ・ファイバーレーザー複合マシン LC-2512C1AJe (第四工場導入機)



お問い合わせ先：株式会社フジムラ製作所

所在地：埼玉県川口市領家 3-12-10

代表電話：048-225-7781

ホームページ：<https://www.fujimurass.com/>